

第14回病理技術向上講座

第10回びわ湖細胞病理テュートリアル

(2024年度・合同開催)

開催日時	2025年2月21日(金)13時 ~ 3月10日(月)13時
開催様式	Web配信による視聴
主催	一般社団法人 PaLaNA Initiative
共催	滋賀県病院事業庁・公益社団法人滋賀県臨床検査技師会
後援	滋賀県臨床細胞学会
Director	黒住 眞史 (滋賀県立総合病院 病理部)
Program Comittee	原田 大輔 (堺町御池病理診断科クリニック 理事長)
	鈴木 悦 (NPO 法人つくば臨床検査教育・研究センター)
	守安 岳征 (大津赤十字病院 病理診断科部)
	黒住 眞史 (滋賀県立総合病院 病理部)
Past Director	真鍋 俊明 (一般社団法人 PaLaNA Initiative 代表理事)
座長	守安 岳征 (大津赤十字病院 病理診断科部)

定員：300名(予定・先着順・要事前申込)

申込期限：2025年2月16日(日)

参加費：7,500円(税込・領収書発行可能)

冊子版ハンドアウト(任意)：3,000円(税込・領収書発行可能)

※ハンドアウトは、すべての参加者がpdfファイルにてダウンロード可能です。

※冊子版を事前に入手ご希望の方は、1/31までに申込みを完了してください。

(それ以降も冊子版の購入は可能です。)

参加方法：本講座のプラットフォームである GMO メディア株式会社が提供する「コエテコカレッジ by GMO」のアカウントにて接続してください。

(<https://college.coeteco.jp/>)

決済方法：クレジットカード決済・銀行振込・コンビニ決済

その他：日本臨床衛生検査技師会 生涯教育点数取得可能

：日本臨床衛生検査技師会 認定病理検査技師点数取得可能

：日本臨床細胞学会 細胞検査士クレジット取得可能

：日本病理学会 専門医更新単位 iv) 取得可能

配信期間内にすべての講演を視聴し、最後のアンケートにお答え頂いたら上記の単位が取得可能です。

演題は裏面をご確認ください。

申込み方法：PaLaNA Initiative Web サイトからお申し込みください。

<https://www.palana.or.jp/14th-koujoukouza/>

【お問い合わせ先】

〒604-8412 京都市中京区西ノ京南聖町 18-21-402

一般社団法人 PaLaNA Initiative

<https://www.palana.or.jp/>

E-mail: 14th-koujoukouza@palana.or.jp



第14回病理技術向上講座

第10回びわ湖細胞病理テュートリアル



◆基調講演◆

1：WSIシステム側から見たデジタルパソロジーの現状と今後（2024年版）

小倉 隆

浜松ホトニクス株式会社 システム事業部 システム営業推進部 営業推進2グループ

◆管理運営◆

2：患者・検体取り違えによる医療過誤の防止／もう一度原点に戻って
林 裕司

滋賀医科大学附属病院 病理部

◆病理細胞診技術◆

3：認定血液検査技師・骨髄検査技師／血液細胞の分類と遺伝子検査の
現状と今後（血液検査部門での臨床検査技師の関わり）

常名 政弘

東京大学医学部附属病院 検査部

◆遺伝子学的検査関連◆

4：遺伝性がんの対応・がんゲノム・染色体／マイクロアレイ検査等の
病院内での結果開示プロセス、他 ー遺伝診療専門医の立場からー

野口 恵美子

筑波大学 医学医療系遺伝医学

5：ゲノム医療連携病院での病理検査の対応 ー技師の役割ー

中川 智貴

筑波大学附属病院 病理部

◆切出し業務◆

6：大腸病変の肉眼観察・写真撮影・固定切出・診断について

太田 諒

彦根市立病院 臨床検査科

7：大腸病変の診断に必要な包埋・薄切・染色・特殊染色・遺伝子検査

村田 佳彦

筑波大学附属病院 病理部